

私の名前は、ティファ・ロックハート



誰も立ち寄ることのない廃墟の遺跡で、
今日はじめてあつた男に、写真を撮らせて
欲しいと頼まれた。

普段の私だったら、断るのに…
なぜか承諾してしまったのよね。
どうせ、いつも私に言い寄つて来るような
エッチな事しか考えていない男なのに。
なぜ断れなかつたのだろう?
今日の私、なにか変…

自然な感じって言われても

んうつ



ティファアちゃんなら
どんなポーズでも
ステキに撮れますよ！

何しろ

裸体が写る

力メラで

撮るからね♥

(内緒だけど

・・・





そんなの
簡単だよ

シャツターチャンス!



すごい声！

そんなにティファの
オッパイ気持ちいいの？

んつぐんぐううう
をおおおおおつ

アヒル

ヤハラ

ヤハ

ヤハ

ヘイ

んつぐんぐううう





感動的だよ！

俺が、ティファアの
初めての男に成つたんだ。

ううう



アクメが
近いんだよ
いつちゃって
いいよ!

ねえ、私へんなの
おまんこ痺れて
躰がぞくぞく
してきたよ♪

ぬっちゃん
ぬっちゃん

また、大量に

射精してしまつた。

なんて凄い躰なんだ

ティファになら

いくらでもザーメン
排出できそうだよ。



必死で逃れようとするティファの胸を

思い切り抑え付けた。



怪力のマテリアも所持している俺の力に
格闘のプロであろうと
ティファの力では逃げる術はない。



とっても
可愛いよ
ティファア
♥

ヌン